

優良素材鶏有効利用促進事業 (赤玉タイプ)

埴和靖俊*・御幡 寿

要 約

当研究室保有の赤玉鶏，ロードアイランドレッド1系統，横斑プリマスロック1系統，名古屋種1系統について，24週齢，30週齢，43週齢時の卵殻色調及び肉斑・血斑の出現率を調査した。

その結果，加齢に伴い卵重や肉斑出現率の増加や卵殻色の減退が認められた。

キーワード：ユウリョウソザイケイ，ロード，オウハンプリマスロック，ナゴヤシユ

緒 言

優良な赤玉タイプ鶏作出を図るため，ロードアイランドレッド，横斑プリマスロック，名古屋種を用いて卵殻の色調及び肉斑，血斑の出現率を調査し，当該系統の有効な利用方法を検討する。

材料及び方法

1. 供試鶏

ロードアイランドレッド1系統	雌	232羽
横斑プリマスロック1系統	雌	40羽
名古屋種1系統	雌	110羽

2. 調査期間

平成12年4月～13年3月

3. 飼育形態

餌付けから28日齢までは電熱立体育雛機で，その後，試験終了までは雌雄別々に開放鶏舎でケージ群飼いとし，120日齢時に個別ケージ飼いとした。

4. 給与飼料

餌付けから28日齢までは幼雛育成用飼料（C

P20%，ME2900kcal/kg），70日齢まで中雛育成用飼料（CP18%，ME2800kcal/kg），140日齢まで大雛育成用飼料（CP15%，ME2750kcal/kg），140日以降は成鶏用飼料（CP17%，ME2850kcal/kg）をそれぞれ不断給餌した。

5. 調査項目

性能調査は，卵殻強度，卵重，卵殻色，血斑率，肉斑率等について行った。卵殻の色調[L値（明度），a値（赤色度），b値（黄色度）]は色差計（ミノルタCR300）で，測定した。

結果及び考察

系統別成績は，表1～表3のとおりである。昨年と比べ，血斑や肉斑の出現率は低下した。一般鶏卵の血斑や肉斑の出現率は，鶏種・系統・日齢に左右され，老齢化の目安とされているが，今後とも消費者の自然・健康志向にあった優良赤卵鶏の改良に努めていく。

※現 茨城県農業総合センター農業大学校

表1 ロードP系の卵質性能調査成績

週齢	調査個数	卵殻強度	卵重 g	L 値	a 値	b 値	血斑率%	肉斑率%
24	120	3.34	52.25	60.23	15.63	28.01	0.8	20.0
30	120	3.22	56.91	64.66	13.46	27.17	0.9	25.0
43	56	3.32	64.04	67.31	13.15	27.13	2.5	35.7
51	48	3.57	63.19	66.66	14.03	27.89	3.3	27.1

表2 横斑プリマスB系の卵質性能調査成績

週齢	調査個数	卵殻強度	卵重 g	L 値	a 値	b 値	血斑率%	肉斑率%
24	14	3.18	45.15	74.99	6.88	19.76	0	14.3
30	37	3.98	52.64	76.52	8.25	20.67	2.7	24.3
43	24	3.79	60.71	79.03	6.98	19.96	8.3	37.5

表3 名古屋種I系の卵質性能調査成績

週齢	調査個数	卵殻強度	卵重 g	L 値	a 値	b 値	血斑率%	肉斑率%
24	51	4.00	44.6	71.36	9.15	16.66	0.0	23.5
30	60	4.40	49.9	74.99	9.56	17.62	2.0	23.3
43	60	3.93	54.76	78.35	7.97	17.85	3.3	23.3